

【高知県立大学】

文化学部交換留学生

趙 嘉琦(ちょう かき)

中国出身



こんにちは。私は北京連合大学から、高知県立大学に一年間留学中の趙嘉琦です。留学を開始してから、もうすぐ十ヶ月となります。今回、私は高知県立大学での留学についての感想を述べたいと思います。

私は、去年の三月末から高知での生活を始めました。初めての海外生活なので、不安な気持ちでいっぱいでした。最初は、交通も不便で雨もすごく多かったので、これからの一年間の留学生活がちょっと心配になりました。でも、大学の事務室の人がいつも私たちの悩みを聞いて、よく手伝ってくれましたので本当に助かりました。

続いて学校生活について紹介したいと思います。国際交流のイベントで、日本人の学生と台湾からの留学生と一緒に何回かバスハイクに参加したことがあります。いろいろな所に遊びに行きました。大学の新生歓迎イベントでは桂浜に行き、記念写真をいっぱい撮り、本当にいい思い出になりました。バスハイクを通して、たくさん日本人の学生とイタリアの留学生と交流して、友達もいっぱいできました。中でも一番印象深いのは、アメリカからの留学生達と室戸青少年自然の家での研修に参加した時のことです。それは私にとって初めての合宿でした。その夜、皆さん揃って一緒におしゃべりした事は一生忘れません。また、普段の生活で私が暇な時には、日本人の友達が家に誘ってくれて、一緒にご飯を食べたり、ゲームをしたりして、日本と自分の国の話で盛り上がりたりします。日本語で会話ができることが嬉しく思います。私は合気道のサークルにも入っていて、そこで技を学んだり、皆さんと練習をしたりする時はすごく充実しています。

次は勉強のことを話したいと思います。私は文化学部で勉強をしています。授業は中国と違い、自分で考えなければならないことが多く、学生同士で討論することも多かったです。最初は先生の話すスピードが速いので、わからないところがいっぱいありました。でも、その時には先生方がよく手伝ってくれましたし、友達も自分のメモを私に見せてくれて、本当に助かりました。今は授業のやり方にも慣れ、そんなに困ることはないです。

高知に住んで、最初は何も知らなかったけど、皆さんのおかげで今は自分でできますし、生活にも慣れました。高知は小さな街ですが、住んでいる人は親切ですし、空気もいいし、ここに来て本当に良かったと思います。一年間の留学生活は短いですが、私にとって、きっと一番いい思い出になるとと思います。